

General Radiology 画像診断演習

Pearls and Pitfalls

著：木口貴雄（一宮西病院放射線診断科）

井上明星（滋賀医科大学放射線科）

黒川 遼（東京大学医学部放射線医学講座／
ミシガン大学放射線科）



発行：Gakken

2023年3月刊行

B5判・244ページ

定価：5,940円（10%税込）

◆General Radiologists三銃士による渾身の1冊！

本書は、日本が誇るGeneral Radiologists三銃士により、『画像診断』誌で連載された貴重な症例をまとめたものである。取り扱う症例は、比較的commonな疾患からrareな疾患まで、また中枢神経から骨軟部まで盛り沢山である。毎月愛読しているとcommonな疾患でも、自分では思いつかなかった新しい視点を発見したり、rareな疾患をみると自分の知識をブラッシュアップできたり、毎月読むのが待ち遠しかった。私は、それらの連載が製本、出版されることを切に願い、本当に心待ちにしていた。

昔、子どものころ、週刊少年漫画雑誌が好きだった私は、毎週（特に月、水曜日）発売されるまで待ち遠しく感じ、またその中でお気に入りの漫画（特にボクシング、格闘もの）は単行本が発売されると購入し、再度読みふけた。毎週雑誌を読み、ストーリーを既に知っているにもかかわらず、単行本を購入して読むのは、一連の流れを途切れることなく読むことによって、さらに痛快になり、その漫画の世界にのめり込めるからである。

今回、本書で提示された症例はすべて含蓄があり、読んでいてどれも気が抜けない。これは、執筆者が毎月渾身の力を込めて書き下ろし、連載されたからこそである。単行本化され、ステップごとの体験型読影、充実した診断の思考過程、さらに要所要所に鑑別診断も記載され、また画像の配置や解説の行間までも工夫され、読むと連載では味わえない体験ができる。私自身、連載でみているのに、容易に同じピットフォールにはまったり、また、彼らと同じような鑑別、思考回路で診断できると、「まだまだいけるじゃん！」と自画自賛したり、あっという間に通読できた。よって、今回の1冊は、毎月購読している人にとっても新鮮で、また参考書としても活用でき、ビギナーにとっても読みやすいと思う。

最後に、読者のわがままであるが、この1巻を読み終えると次の第2巻が待ち遠しい。疾患、病態は無限大で、満ち溢れる才能をもった三銃士をはじめとするエキスパート達が、それらを痛快に診断していく物語の続きを期待している。

自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部
松木 充